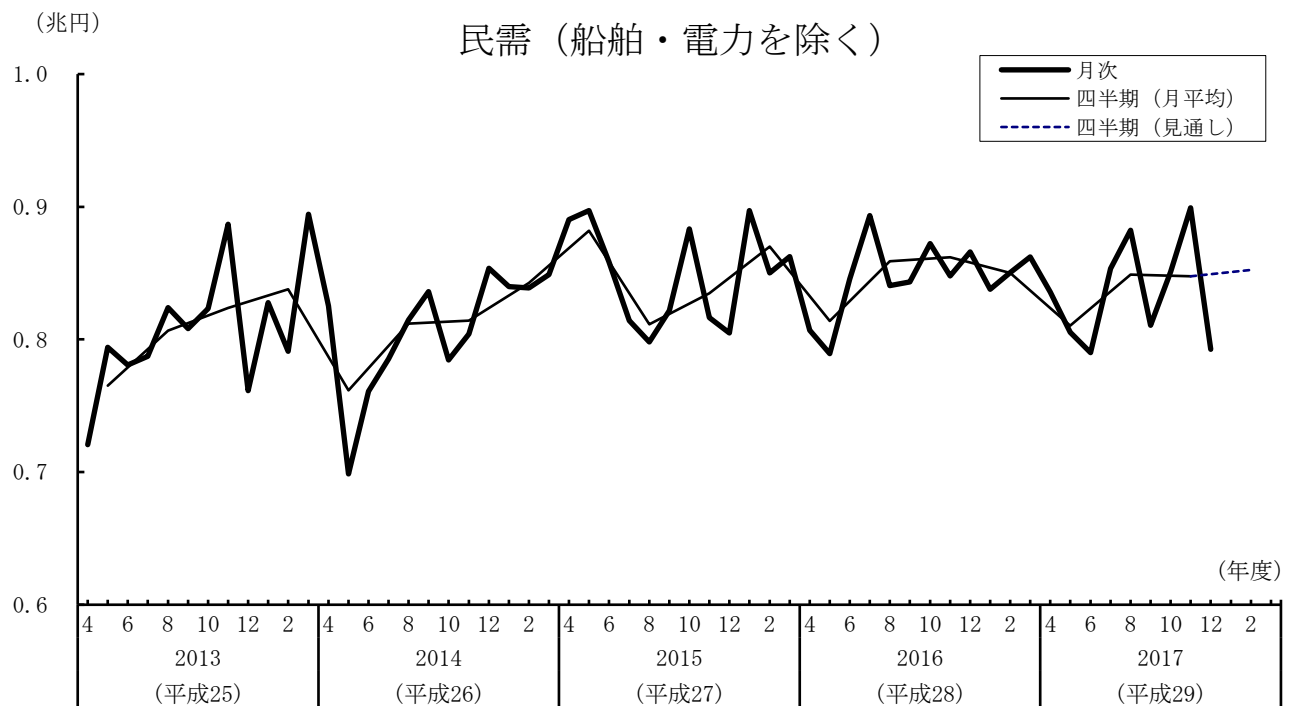


平成29年12月の機械受注実績及び平成30年1～3月の受注見通し

機械受注は、持ち直しの動きがみられるものの、12月の実績は大きく減少した



(備考) 四半期(見通し)の2018年1～3月は「見通し調査(2017年12月末時点)」の季節調整値を3で割った数値。

対前月(期)比

(単位:%)

期・月 需要者	2017暦年 (平成29 暦年) (実績)	2017年 (平成29年)			2018年 (平成30年)	2017年 (平成29年)			
		4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	10-12月 (実績)	1-3月 (見通し)	9月 (実績)	10月 (実績)	11月 (実績)	12月 (実績)
受注総額	3.4	1.7	7.3	3.3	△6.0	△10.2	5.6	11.8	△14.9
民需	△5.0	△0.9	7.9	4.0	△7.3	△2.9	3.3	10.4	△16.8
〃(船舶・電力を除く)	△1.1	△4.7	4.7	△0.1	0.6	△8.1	5.0	5.7	△11.9
製造業	4.2	3.7	8.2	4.0	△5.7	△5.1	7.4	△0.2	△13.3
非製造業(除船・電)	△5.1	△9.9	1.6	△2.0	7.4	△11.1	1.1	9.8	△7.3
官公需	△6.7	△17.6	14.8	△6.3	4.8	△30.9	13.2	1.5	1.1
外需	17.1	9.6	9.2	0.1	△5.5	△9.8	4.9	4.9	△13.2
代理店	5.8	4.2	△1.0	△2.6	12.1	△4.9	△0.2	4.7	△5.9

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. △印は減少を示す。

3. 見通しは2017年12月末時点の調査。